

平成28年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」
所在地	四日市市鶉の森一丁目13番17号
指定管理者	<p>名称 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団</p> <p>代表者 理事長 小菅 弘正</p> <p>住所 四日市市本町9番8号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課（問合せ先）	<p>市民文化部 文化振興課</p> <p>TEL：059-354-8239</p> <p>E-mail：bunkashinkou@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

茶室「泗翠庵」の管理運営状況については、「市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り、市民の文化と教養の向上に資する」という施設の目的を概ね達成し、市民サービスの向上に努め、また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

平成28年度の施設の稼働率は広間及び次の間で37.0%となり昨年度の実績値（40.3%）を下回りましたが、来館者数は15,218人で昨年度の実績（14,117人）を大きく上回りました。

この理由については、広間及び次の間の利用者が前年度の実績である5,343人を上回る7,283人の利用があったためです。なお、立札席利用者は前年度より減少したものの、継続して7,000名を超える利用があることから、引き続き茶室の良さを発信するとともに魅力ある事業を実施することで利用者の確保に努める必要があります。

施設の機能面では、トイレの便座を自動開閉機能付きのウォシュレットに変更したことにより、和服の利用者や高齢者に配慮し、利用者目線に立った改善が図られました。

管理経費については、予算の範囲内で効率的に執行されており、また、業務内容についても、四日市市茶室条例・同施行規則を遵守し、協定書に定める業務を適正に実施していました。

自主事業については、四日市茶道教授連盟等と連携して、誰もが気軽にお茶を楽しめる事業を行い、日本の伝統文化である「茶道」の振興や普及、利用促進に努めています。自主事業の参加者数は、昨年度より増加しており、高い水準で推移しています。

立札席において雨漏りが発生しましたが、開館に影響が出ないよう工夫して修繕工事を行い、計画通り開館できたことは評価できます。また、7年連続で来館者数が増加していることは、市民にとって茶室が馴染みのある施設になりつつあることがうかがえます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成28年度は、自主事業の参加者数及び来館者数ともに前年度実績より増加していますが、施設利用団体数が減ったことによる減収は今後の検討課題です。伝統文化に親しむことができ、誰もが気軽にお茶を楽しめる場であることを知っていただけるようPR活動に重点をおくことで、利用に余裕がある広間及び次の間等の稼働率上昇にもつながっていくものと考えます。

茶道体験教室・特別講座については、様々な分野とのコラボレーションが見られ、好評を得ていることから、今後も利用者目線に立った事業の実施を求めます。

また、築後21年となる木造建築物であるため、施設の維持管理についても計画的に進め、機能が十分に発揮され市民が快適に利用できるよう適切に進めていきます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民が、茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資するという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われています。施設の稼働率は広間及び次の間で37.0%となり昨年度の実績値（40.3%）を下回りましたが、来館者数は15,218人で昨年度の実績（14,117人）を大きく上回りました。施設運営や利用者への対応についても、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。管理経費については支出の抑制に努め、計画より収支改善がなされました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

自主事業の茶道体験教室や特別講座、文化の日茶会、無料呈茶会のほか、文化会館とも連携を図り、立礼席では地元萬古作家の作品展示とその茶碗で抹茶をいただく期間や特別講座の開催など、伝統文化に触れ、誰もが気軽にお茶を楽しむ事業が実施されていました。また、立礼席では来訪者にわかりやすく茶室や茶道について説明を行うことで伝統文化を気軽に親しむ機会を持つことについて、評価されています。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し、適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金等の収入、管理費等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルが適切に作成されていました。個人情報保護についても、日々の朝礼などで全職員に徹底し、犯罪防止・秘密保持に努めていました。損害賠償責任保険の加入もしており、リスク管理も行われていました。

社会性（環境等への配慮）

トイレの便座を自動開閉機能付きのウォシュレットに変更して高齢者等への配慮がなされました。また、空調を分けて調整できる部屋については、こまめに管理していたことや不要箇所の照明の消灯などそれぞれについて工夫をして実施され省エネルギー推進への配慮がなされました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された貸借対照表、損益計算書などを分析した結果、問題はないと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

ハローワークが主催する講演への参加や、個別に相談に行くなど、新規雇用に向けた取組みは行われていましたが、平成28年度中の雇用には至りませんでした。平成29年度は障害者を1名雇用し、必要な人員は満たしていますが、実雇用率は1.77%となることから、引き続き、雇用率が2.0%を超えるよう促していきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成28年度

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」		所管課： 文化振興課
所在地	四日市市鶴の森一丁目13番17号		設置年月： 平成6年7月6日
設置目的	市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、もってそれら伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資する		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市茶室条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	1, 407㎡
		延床面積 (㎡)	267.8㎡
	小間棟 広間	四畳半下座床、点前座台目構え、台目切炉 主室9畳、次の間6畳	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶道等の伝統文化に親しむことができる場の提供に関する事業 ・ 茶道等の伝統文化の普及及び啓発に関する事業 ・ その他茶室の設置目的を達成するために必要な事業 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	308日	308日	計画通り
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	計画通り
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	計画通り
自主事業開催	16回	17回	1回

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
自主事業参加者数	—	702	—	
施設別利用件数	広間及び次の間	99	小間の利用件数は 広間の内数	
	うち小間	(42)		
	計	99		
利用団体数	90	115	25	
施設別来館者数	広間及び次の間	7,283	小間の来館者数は 広間の内数	
	うち小間	(1,463)		
	計	7,283		
	立礼席	7,585		
	見学者	350		
	合計	13,000		15,218
稼働率	広間及び次の間	—	37.0%	—
	うち小間	—	10.7%	—

4. 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
事業収入	利用料金	989,000	950,480	△ 38,520
	茶室収入	2,710,000	2,929,800	219,800
	指定管理料	10,643,000	10,643,000	0
	雑収入	0	4,640	4,640
収入合計		14,342,000	14,527,920	185,920
人件費		6,203,000	4,973,543	△ 1,229,457
管理費		10,105,000	9,540,217	△ 564,783
交際費		0	0	0
通信運搬費		110,000	122,594	12,594
消耗什器備品費		152,000	212,382	60,382
消耗品費		1,991,000	2,187,282	196,282
修繕費		700,000	729,540	29,540
印刷製本費		876,000	193,644	△ 682,356
光熱水費		1,360,000	1,200,738	△ 159,262
賃借料		1,099,000	1,252,480	153,480
保険料		29,000	28,320	△ 680
手数料		21,000	8,200	△ 12,800
諸謝金		0	0	0
委託料		3,564,000	3,469,896	△ 94,104
広告宣伝費		80,000	57,200	△ 22,800
その他		123,000	77,941	△ 45,059
一般管理費		420,000	908,368	488,368
支出合計		16,728,000	15,422,128	△ 1,305,872
収 支		△ 2,386,000	△ 894,208	1,491,792

*収支不足額については、法人・団体会計から繰り入れられています。

平成28年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	308日	308日	計画通り	計画どおり適正に執行されました。	適
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	計画通り		
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	計画通り		
事業開催	16回	17回	1回		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
自主事業参加者数	—	702	—	施設の稼働率は広間及び次の間で37.0%となり昨年度の実績値(40.3%)を下回り、また、施設利用団体数も115団体で、昨年度(125団体)を下回りました。 また、来館者数については立礼席の利用者が7,585人で昨年度(8,175人)を下回ったものの、広間及び次の間の利用者が7,283人で昨年度(5,343人)を大きく上回った結果、総来館者数は15,218人で昨年度の実績(14,117人)を上回り、計画値13,000人も上回りました。自主事業参加者数についても702人で昨年度(697人)を上回りました。	適	
施設別利用件数	/	広間及び次の間	99			小間の利用件数は広間の内数
		うち小間	42			
		計	99			
利用団体数	90	115	25			
施設別来館者数	/	広間及び次の間	7,283			小間の来館者数は広間の内数
		うち小間	1,463			
		計	7,283			
		立礼席	7,585			
		見学者	350			
		合計	13,000	15,218	2,218	
稼働率	広間及び次の間	—	37.0%	—		
	小間	—	10.7%	—		

3. 事業収支

(単位：円)

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
事業収入	利用料金収入	989,000	950,480	△ 38,520	《勤務体制》 臨時職員 5名 収入については、施設の利用件数は115団体と計画値の90団体を上回ったものの、午前中や午後だけの利用といった利用が多く、全日利用が少なかったこと等が影響して利用料金収入が950,480円と計画(989,000円)を下回りましたが、立礼席利用者は7,585人で、呈茶料収入は2,929,800円となり、計画(2,710,000円)を上回りました。このことから収入全体の計画対比で185,920円増収となりました。 支出については、人件費において常勤臨時職員3人の配置を予定していましたが、結果的に常勤臨時職員を2人を配置して、非常勤臨時職員を1人増やして3人配置したことから実施計画を564,783円下回りました。 また、立礼席の利用者が見込みより多かったことに伴い、抹茶、和菓子の費用が増加したこと等から消耗品費は196,282円増額になりました。印刷製本費においては、印刷物の一部をインターネット印刷に変更したこと等から682,356円支出を抑えられました。 他の費目については、おおむね計画通りの執行となり支出全体の計画対比で1,305,872円抑制されました。	適
	呈茶料収入	2,710,000	2,929,800	219,800		
	指定管理料	10,643,000	10,643,000	0		
	雑収入	0	4,640	4,640		
	収入合計	14,342,000	14,527,920	185,920		
人件費	6,203,000	4,973,543	△ 1,229,457			
管理費	10,105,000	9,540,217	△ 564,783			
交際費	0	0	0			
通信運搬費	110,000	122,594	12,594			
消耗什器備品費	152,000	212,382	60,382			
消耗品費	1,991,000	2,187,282	196,282			
修繕費	700,000	729,540	29,540			
印刷製本費	876,000	193,644	△ 682,356			
光熱水費	1,360,000	1,200,738	△ 159,262			
賃借料	1,099,000	1,252,480	153,480			
保険料	29,000	28,320	△ 680			
手数料	21,000	8,200	△ 12,800			
諸謝金	0	0	0			
委託料	3,564,000	3,469,896	△ 94,104			
広告宣伝費	80,000	57,200	△ 22,800			
その他	123,000	77,941	△ 45,059			
一般管理費	420,000	908,368	488,368			
支出合計	16,728,000	15,422,128	△ 1,305,872			
収支	△ 2,386,000	△ 894,208	1,491,792			

総合コメント

広間及び次の間の稼働率については37.0%で、前年度(40.3%)に比べ減少しました。また、利用団体数が115団体と前年度の125団体より減少しましたが、来館者数は15,218人で、前年度14,117人から1,101人増加しました。収支については、計画を上回る立礼席利用者があったことにより呈茶料収入が多かったことや印刷物の一部をインターネット印刷に変更するなど支出を抑えたことから実施計画に比べ1,491,792円改善されています。また、会計経理は、適切に行われており、経理関係調書や領収書等の証拠書類についても適正に整理されていました。

平成28年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>広間及び次の間の稼働率37.0%については昨年度（40.3%）を下回りましたが、来館者数は15,218人で昨年度の実績（14,117人）を大きく上回りました。</p> <p>なお、立礼席の利用者は7,585人で昨年度（8,175人）を下回りましたが、広間及び次の間の利用者が7,283人で昨年度（5,343人）を上回っています。</p> <p>また、自主事業参加者数702人は昨年度（697人）を上回りました。</p>	適
事業収支	収入	<p>施設の利用件数は115団体と計画値の90団体を上回ったものの、午前中や午後だけの利用といった利用が多く、全日利用が少なかったこと等が影響して利用料金収入が950,480円と計画（989,000円）を下回りました。</p> <p>立礼席利用者は7,585人で、呈茶料収入は2,929,800円となり計画（2,710,000円）を上回りました。</p> <p>収入全体としては計画対比で185,920円増収となりました。</p>	適
	支出	<p>人件費において常勤臨時職員3人の配置を予定していましたが、結果的に常勤臨時職員を2人を配置して、非常勤臨時職員を1人増やして3人配置したことから実施計画を564,783円下回りました。</p> <p>立礼席の利用者が見込みより多かったことに伴い、お出しする抹茶、和菓子も増加したこと等から消耗品費は196,282円増額になりました。</p> <p>また、立礼席天井雨漏り修繕や勝手口の引き戸交換など計画にない緊急的な修繕があり修繕費が29,540円増額になりました。</p> <p>印刷製本費において、印刷物の一部をインターネット印刷に変更したこと等から682,356円支出を抑えられました。</p>	適

平成28年度 茶室 泗翠庵 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総 則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	建築基準法に定められた通り行われている	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	指定管理者面談	定期的に連絡調整会議を開催し、情報共有が図られている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	—	該当なし	—
		事故等の報告書が提出されたか	—	該当なし	—
	施設使用許可	施設の使用許可が適切に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
使用料金の徴収	使用料金が適切に徴収されているか	書面確認	条例どおり行われている	適	
備品の管理	備品等の管理が適切に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適	
市有建築物定期点検	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	建築基準法に定められた通りに行われている	適
茶室警備保安業務	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
茶室庭園管理業務	庭園管理	業務が計画書に基づいて実施されているか	実地確認	仕様書通りに行われている	適
立礼席運営委託	運営	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
茶室空調保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適

総合コメント

法令等の遵守及び指定管理者協定書等に基づく業務計画等の実施について適正に履行されてきました。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、収納金の納入処理と呈茶券の受払いの管理方法、各種マニュアルの作成、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されてきました。

平成28年度 茶室 泗翠庵 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
茶道体験教室	8回開催予定 【開催月】 4月・5月・6月・9月 10月・11月・2月・3月	◆茶道体験教室（全8回） ①「盆点を楽しむ集い①」（4月24日） 【参加者数 7名】 ②「茶花を届けよう」（5月22日） 【参加者数 17名】 ③「小間で濃茶を楽しもう」（6月26日） 【参加者数 16名】 ④「初心者向け」（9月4日） 【参加者数 10名】 ⑤「野点を楽しむ集い」（10月23日） 【参加者数 20名】 ⑥「文化の日茶会」（11月3日） 【参加者数 173名】 ⑦「盆略点前を楽しむ集い」（2月5日） 【参加者数 19名】 ⑧「立礼席を楽しむ（無料呈茶）」（3月26日） 【参加者数 150名】	延べ参加者数 412名 昨年に引き続き「文化の日茶会」及び「立礼席を楽しむ（無料呈茶）」を実施したことから前年度（434名）と同等の参加者があり、前々年度実績（128名）を大きく上回りました。日本の伝統文化である「茶道」を多くの人が体験できています。	適
特別講座	6回開催予定 【開催月】 7月（2回） 8月（2回） 9月・11月	◆特別講座（全6回） 「日永うちわづくり体験」（7月24日） 【参加者数 26名】 「組子（くみこ）づくり体験」（7月30日） 【参加者数 25名】 「一閑張り体験」（8月20日） 【参加者数 18名】 「抹茶茶碗づくり体験」（8月21日） 【参加者数 46名】 「伊勢茶の美味しい入れ方」（9月10日） 【参加者数 18名】 「茶杓を知ろう～茶杓削り体験～」11月13日） 【参加者数 27名】	延べ参加者数 160名 前年度実績（133名）を上回りました。 多くの人に茶室、茶道に対する理解を深めてもらうことができています。	適
特別事業	2回開催予定 【開催月】 5月・11月	◆特別事業（全3回） 「調理技能展」（6月5日） 【参加者数 40名】 「調理技能展」（12月4日） 【参加者数 40名】 「国際交流茶会」（1月22日） 【参加者数 50名】	前年度より取り組んでいる「和食」をテーマにした調理技能展は、応募者が定員を上回るなど引き続き好評でした。また、市内在住、在勤の外国人を対象にして新たに国際交流茶会を開催して、日本の伝統文化に親しむことができました。	適

総合コメント

四日市茶道教授連盟と連携して、誰もが気軽にお茶を楽しめる事業を行い、日本の伝統文化である茶道の振興や普及と、茶室の利用促進に努めていました。
平成28年度は、特別講座として日永うちわづくり体験を通して本市の伝統工芸を学ぶ機会を設けたことや、特別講座として人気の高い調理技能展を継続して開催したこと等、充実した事業が展開されました。
茶道体験教室は、定員に余裕のある回があることから、多くの市民が参加いただけるよう積極的に広報し、泗翠庵へ足を運んでもらえるよう魅力的な事業を展開していく必要があります。

平成28年度 茶室 泗翠庵 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月の連絡調整会議及び随時	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認	点検票・受付票等	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間2件）	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間3件）	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	修繕の実績なし	—
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間1件）	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、仕様書のとおり実施されています。点検や検査の実施状況について、異常については発見次第、報告・協議を受け、協定経費区分に基づき必要な修繕等を実施していました。上記業務の実施については適正であると判断します。

平成28年度 茶室 泗翠庵 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	月次報告によるアンケート結果及び 実地調査(随時)	適正に執行された	適
		許可証は速やかに発行されたか		適正に執行された	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か		適正に執行された	適
		ホームページは見易いか		見易い(ホームページ確認)	適
	受付・対応業務	担当者の接客態度は良かったか		良いアンケート結果が多い	適
		利用者に対する指導は適切であったか		良いアンケート結果が多い	適
		業務従業者は名札を着用しているか		着用している	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	良いアンケート結果が多い	適		
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認実施	適	
		全体的(駐車場を含)に、見た目清潔に保たれているか	現地確認実施	適	
	警備業務	避難経路には障害物がないか	現地確認実施	適	
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認実施	適	
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認実施	適	
		草刈りや除草はされているか	現地確認実施	適	
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	良いアンケート結果が多い	適	
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認実施	適	
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適		

総合コメント

月次報告のアンケート結果では、各種講座に対し好意的な意見も多く利用者が満足されています。
平成28年度は、昨年度に引き続き特別講座などは参加者数が多いものの、茶道体験教室については、定員に余裕のある回をなくすよう、今後も利用者の声や意見を取り入れて講座内容を充実させるとともに、興味を引く内容のものを開催できるよう様々な工夫が必要と思われます。
維持管理については、適切にされていると思われます。